

広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）に求めること

調査報告書

平成29年度の調査研究事業として、平成24年度に開館した広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）に求めるご意見や男女共同参画の意識についてのアンケート調査を行いました。調査結果をまとめご報告いたします。この調査結果は、当センターの事業に活かすとともに、今後のみなさまの活動のご参考になれば幸いと存じます。本調査にご協力いただきました関係のみなさまに心よりお礼申し上げます。

広島市男女共同参画推進センター（ゆいぽーと）
センター長 信政 ちえ子

I 調査概要

- 1 調査の目的
広島市男女共同参画推進センターに求めることについて調査し、今後の活動に活かすことを目的とする。
- 2 調査方法
 - (1) 調査対象 平成29年度広島市男女共同参画推進センター使用料減免団体（150団体）
 - (2) 調査方法 郵送・無記名方式
 - (3) 調査期間 平成30年3月16日（金）から3月31日（土）
- 3 回収状況
 - (1) アンケート調査票配布数 150枚
 - (2) 有効回収数 71枚
- 4 調査結果の見方
調査票は全て記述式の回答をいただき、回答内容の同様なものを項目ごとにまとめて抜粋し、記載した。
- 5 回答の属性
 - (1) 性別

女性	59人	男性	8人
未回答	4人		
 - (2) 年代

20代以下	0人	30代	4人
40代	7人	50代	9人
60代	26人	70代以上	24人
未回答	1人		
 - (3) 職業

会社員	6人	公務員	6人
自営業	7人	会社役員	2人
主婦	24人	主夫	0人
無職	19人	その他	5人
未回答	2人		

Ⅱ 調査結果

1 男女共同参画の推進について

問 1

推進するために、「ゆいぽーと」でどのようなことを取り上げてほしいですか。

★女性

- ・働く女性と男性の賃金格差の問題を考える企画
- ・世界で男女平等の進んでいる国の現状や歴史に学ぶ企画
- ・市の基本目標1「政策・方針の立案及び決定への女性の参画の拡大」がなぜ進まないのか、実現はどうすればできるのかを考える企画
- ・貧困母子家庭をどのようにして応援して行くべきか
- ・女性のためのフィットネス等
- ・女性が仕事と育児の両立ができる社会基盤の整備をどのようにすれば良いか
- ・独身女性が不安なく心地良く暮らせる世の中について
- ・保育園の待機児童の現状や女性の出産後の再就職の難しさ等を聞ける場所
- ・女性が働く現場の実態
- ・地域の防災セミナー、女性が出来る事
- ・女性が働きやすい社会のしくみ

★人権

- ・わかりやすく人権について学ぶ講座
- ・LGBT
- ・「男女」でくくるのが難しい人たちがいる。LGBTを考えることも大切だと思うので「個人の尊重」という視点での取り組み。憲法11条、13条、24条にもあるので、憲法の学習も必要
- ・憲法カフェ
- ・パワハラ、セクハラの実状と解決策

★子ども、子育て

- ・中学生、高校生の居場所づくり
- ・子どもの貧困や性教育
- ・子どもの自死や不登校
- ・若い親を支援する「子どもの発達の道筋と適切な支援」の講演会やワークショップ
- ・DV、虐待等の相談活動
- ・核家族の多い中、育児に問題をかかえている若いお母さん達のための未来を担う育児支援講座
- ・若者の生き方をテーマにした講座（若者が希望を持てるような）
- ・成人や子育て主婦の引きこもり
- ・幼児の英会話

★働き方

- ・創業セミナー
- ・家庭と仕事を両立できるための環境づくりの活動
- ・働き方改革についての解説講座（働き手の自由な時間がない）
- ・「共働きだけど小さい子どもがいて保育園に入れない人」「フリーランスデスクワークをしている人」などが各ライフスタイルに応じたコミュニティを作っている場としてゆいぽーとが機能してほしい

★男性の家事、育児

- ・夫婦で子育てする大切さを伝える講座
- ・家庭で家事を共にする講座（男性、子ども対象の料理教室など）

★男女共同参画

- ・『男女共同参画社会ってなんだろう?』を読んでも一向に姿が見えないので、「ゆいぽーと行事一覧表」の講座を繰り返しやっていく中、推進されるのではないか
- ・何回も資料を読み返しても男女共同参画という事が理解できない。男女云々ではなくお互い尊重し合って、協力し合って生きるという人間教育ではないか
- ・推進活動の成功例を具体的に分かりやすく挙げて、利用者が自分で何ができるかを示していくような内容
- ・男女共同参画検定(試験)創設
- ・男性女性が互いを尊重し合えるようになるための教育的話が学べると良い。男女だけでなく、あらゆる意味で自分とは違う他者の異なるものを認め合えるには
- ・男女共同参画とは基本的にどういうことか理解できるようなわかりやすい講座とか冊子配布等を毎年実施
- ・同封されていた『男女共同参画社会ってなんだろう?』というようなもの
- ・ゆいぽーと行事は堅苦しすぎるので、気軽に話ができる場(男性らしさ女性らしさなどについて)
- ・支えあう男性女性の関係の講演

★健康、シニア向け

- ・健康体(まずは体が資本)
- ・シニア向けの音楽会とか講座
- ・広島県女子の健康寿命が全国最下位なので少しでも良い方向になると良い
- ・高齢化社会に向かい高齢者が生き生きと参加できるような行事等
- ・若い世代へのセミナーが多いようですがご高齢の方への何か

★平和

- ・平和活動
- ・平和の祈りコンサートとか近くの人が気軽に来られる催し

★介護

- ・介護は女性だけではなく男性も積極的に取り組むよう男性の介護講座
- ・男性介護者や経験者の話を聞く会

★行政、地域、社会

- ・世界的な情勢や問題提起(例えば女性の活躍を謳いながら日本はジェンダーギャップ指数が111位から114位へ(2017年))
- ・格差社会の実態や弱者に目を向けること等
- ・男女参画でできる地域と結びついた活動
- ・地域のコミュニケーションをとっていくにはどうしたらいいか
- ・様々な差別の実態(現状)を具体的にかつ客観的に市民に知らせ、行政の責務としてどのような施策をするべきか考え、行動に結びつく内容
- ・同じ悩み(病気、介護、子育てなど)をもつ人々を男女問わず集めて、わかちあえる何かしら心が元気になれる、少しでも解決の糸口が見えるような場(〇〇カフェ)
- ・職業、保険、医療情報などライフスタイルに合ったサービスの提供

★習い事、自己啓発

- ・スマホ教室、エクセル講座
- ・パソコン教室で自らのスキルをアップし男女の差なく社会や地域で役立てる自分であること
- ・自己啓発
- ・ブランディング
- ・体のストレッチ、ヨガ

★その他

- ・性別・年齢を問わず参加できるような行事
- ・男女が集えるコンサート
- ・農業体験の大人版

問2

あなた自身が実現できたらいいなと思うことはどんなことですか。

★ 社会全体

- ・ ゆいぽーとの活動がさらなる地域活性（タカノ橋商店街の活性化）につながり、活気ある元気な街に
- ・ 男性とか女性とかでなく人として個性や能力を十分にのばせる日本
- ・ 女性が個人で生きて、生きやすい社会
- ・ 子ども、女性が自己実現できる社会
- ・ 女性の地位の向上や女性に対する社会の見方がよりよくなっていくこと
- ・ 男女が平等に自らの能力を生かして自由に行動、生活できる社会
- ・ 女性ならではの視点での様々な気づきが社会に生かされると良い
- ・ 子育て世代の、特にお母さんが社会的に優遇されるようになれば良い。子どもを大切にしない日本社会に未来はない
- ・ 本センターの目標のとおり、男女共同で参画し健康で仲良く仲間づくり
- ・ 誰もが生きやすい社会
- ・ 子育てしながら社会に参加（仕事など）すること
- ・ 男はこうあるべき、女はこうあるべきという思いこみからの解放
- ・ 男性社会と呼ばれる職場の解消（例えば県議、市議、公務員など）
- ・ 女性が仕事と子育てを両立できる環境整備
- ・ 選択的夫婦別姓の実現、福祉政策の充実による安定した国民生活、生存権の保障
- ・ 核兵器廃絶
- ・ 男女共同参画の実現の第一歩は、一番身近な人間関係、家庭から始めたい。その実現のためには仲間があるといい
- ・ 男女格差を縮める（議員の数、賃金格差）
- ・ 日本の女性のM字型雇用解消
- ・ 女性の社会進出（その為には男性の理解が追いついていないのでは？）
- ・ 派遣社員の増加が結婚できない人の増加
- ・ や少子化、貧富の差の拡大に繋がっている、以前のように正社員の数を増やす
- ・ 「子育てボランティア」「高齢者健康ボランティア」に参加できる場
- ・ 地域、福祉、教育の垣根をこえた平和活動
- ・ 保健師、保育士、臨床心理士等のネットワークによる親の子育て支援と子どもの発達支援
- ・ 一人暮らしになっても健康で社会参加できる環境
- ・ 女性や子ども、若者の貧困問題、「売春」「買春」と貧困、慰安婦問題と女性への暴力とのつながりなど多々ある現代社会の問題を教科書に記述し若者が考える取り組みを進める
- ・ 女性に偏りがちな育児、家事に関わる時間が減ること
- ・ 障害者差別の実態と差別解消の取り組み
- ・ 生涯勉強という言葉があるが高齢者がどんどん増加している現実の中で老人が勉強できる施設
- ・ センターとタカノ橋商店街との協働活動（行事）
- ・ 地域の中で子どもから年配者までが楽しめるイベント
- ・ 何でもお金で得ることの多い現代ですが、身近なもので物づくりを子どもたちに学んでほしい
- ・ 3世代交流のスペース
- ・ 男女集えるコンサート

★ 自分自身

- ・ 古典芸能の研修や発表を通じて次世代へ継承
- ・ 人を思いやる気持ちを忘れない
- ・ 出来るだけ多くの人と交流
- ・ 一人で暮らしていてもインターネットを使って便利に生活ができる

- ・夢を叶える、キレイになる、健康
- ・広島に住む外国人との交流
- ・男女共同参画検定1級合格
- ・生涯現役
- ・健康寿命を延ばして元気な老後
- ・自然の中で暮らしてみたい
- ・自分の夢の実現、自分の時間が欲しい
- ・家族全員が共にゆったりとした時間がもてるゆとり
- ・男と女はあまりにわかりあえない存在だと実感するので男と女の基本的なところから勉強したい
- ・子育ても終わりかけ今度は自分自身の力を別の所で発揮していきたい
- ・男女共同参画について既に知っている人以外の、あまり考えた事が無かった人への、硬い感じではない認知拡大の手伝い
- ・子育て主婦、介護者の癒しの時間、スペースの手伝い
- ・パパと子どものお菓子作りなどの講座の手伝い
- ・習字や水彩に関する教室
- ・親の介護で大変だった体験から、介護のための体力づくりと介護の上手な方法や、介護される側の言葉づかいなども学びたい

2 「ゆいぽーと」へ求めること

問1

「ゆいぽーと」が、どんな行事をしてほしいですか。

★女性

- ・女性のためのリスタートセミナー
- ・起業講座、主婦から起業していくアドバイス、講座、個別相談など
- ・「女性の貧困・子どもの貧困」「DV防止講座」など現代社会の身近な問題を専門家の方から聞きたい
- ・市の基本目標5「女性に対するあらゆる暴力の根絶と被害者への支援」に関して、被害者への支援の取組み。具体的には体験者の人達とグループセラピー
- ・女性の貧困、子どもの貧困の背景に関する講演会や研修会（当事者を招くコンサート等と共にを行うなど広く市民の参加を促す形で）

★人権

- ・わかりやすく人権について学ぶ内容の講座

★子ども、子育て

- ・子育て支援、子どもの体験もの
- ・小学生と幼児と一緒に参加できる農業体験
- ・託児サポートフォローアップ
- ・子どもの貧困に関する学習会、ワークショップ、講演会
- ・学校と連携して高校生や大学生が大人の男女と世の中のしくみなどについて気軽に話し合える場、イベント
- ・特に子どもが体験でき、親も一緒に楽しめるイベント
- ・ベビーカーやベビー用品、子ども服のリユースイベント（おさがりマルシェ）

★働き方

- ・働き方に関するもの（講演会など）
- ・60代からでも働けるキャリア講座

★男性の家事、育児

- ・父子家庭向けの講座や行事
- ・パパによる絵本の読み聞かせ
- ・父親向けの子育てセミナーなど体験できるようなセミナー

★男女共同参画

- ・男女共同参画基礎講座など
- ・推進員フォローアップ講座の充実

★行政、地域、社会

- ・地域と協力して地元野菜を1階ロビーで販売
- ・働いている人も参加できる時間帯や日曜日のイベント（土日や平日夜など）
- ・商店街、町内会、小学校等の交流の場の提供（地域交流）
- ・外国人観光客が増えている広島だから、その人達と触れ合う場所作り

★健康、シニア向け

- ・フィットネス、体づくり教室
- ・「ゆる〜い健康体操」
- ・男性、女性と分けなくて、年齢制限もない健康促進行事
- ・80歳からの元気な生き方の参考となるような話
- ・ご高齢向け（自力で行動できる方）の簡単な生活指導セミナー（法律、老健施設等）
- ・生涯を通じた女性の健康支援 食育、運動等
- ・高齢単身女性対象に、心身共に健康で過ごすための講座又は体操など
- ・高齢者の生活安定（健康・経済）についての講座
- ・高齢化社会の抱える問題や課題の学習会や高齢女性の問題（くらし、健康、生きがい）に関する企画
- ・高齢者のためのエンディングノート講座（終活）

★平和活動

- ・平和コンサート

★介護

- ・介護者のメンタル
- ・介護体験講座

★習い事、自己啓発

- ・パソコン教室（無料）
- ・フォークダンス
- ・自らの思いこみからの解放について、講演会
- ・タブレットを使用するにあたって開いてはいけない危険な情報漏れについての正しい知識
- ・自分の夢の実現
- ・初めてのスマホ
- ・仕事帰りに通える文化・教養講座

★その他

- ・農業体験講座
- ・発達障害の講演会
- ・公民館まつりのようなもので、他団体との交流や他団体の活動の発表会や紹介
- ・各グループの活動を、目に見える形で1階ロビーで発表
- ・ゆいぽーとを利用している各団体同士の話し合いの場
- ・いろいろな方が参加できるフェス
- ・クラシックコンサート
- ・会社をやめてひまになった男性が気軽に参加できる行事
- ・チャリティ
- ・身近なテーマでの交流会、ワークショップなど

問2

施設設備に関して、部屋を利用した際にお気づきの点などをご記入ください。

★清掃

- ・部屋を利用されたグループでの掃除の徹底（床やテーブル、ゴミ）
- ・モップにつける紙がない時がある
- ・定期的に点検してほしい
- ・掃除道具が少ない
- ・各部屋の掃除を利用者まかせにせず掃除をしてほしい

★部屋の設備

- ・年配の方が多いので音楽室で履物を履き替えるのは大変
- ・各部屋から話し声が聞こえるのが少し気になる
- ・研修室の奥の明かりがもう少しほしい
- ・生活実習室で、少ないご飯を炊く時小さい炊飯器があれば嬉しい。全体の調理器具の一覧表があったら見易い
- ・5階3室をホールとして使用する時のパワーポイントや映画の上映で後ろが見えにくいので改善を
- ・和室のテーブルを毎回収めて戻して帰るが、重いので何とかならないか
- ・和室の部屋がもう少し広くても良い
- ・ピアノの調律が狂っている
- ・ピアノの移動を許可してほしい

★館内設備

- ・小さな食堂があればありがたい
- ・軽食喫茶がなくなり自動販売機でお茶をするのは味気ない
- ・以前の喫茶店のスペースを有効利用されると良いかと思う。毎日でなくとも、お料理団体さん方がカフェコーナーを担当されるなど…
- ・喫茶室の利用はどうなっているのかわからないが、利用団体、地域の人々の活動内容や作品展示などできないか

- ・1階は展示だけでなく、週一でもいいから（週替わりでも）カフェやオリジナル商品の販売（例えば男女共同参画に関するハガキや一筆箋のようなもの）をしては？
- ・商店街正面の階段に手すりを付けてほしい
- ・フィットネスルームを託児所代わりに使用されているグループの保護者の方はお子さんには鏡に触らない注意を払ってほしい。手垢があちこち付いて気持ち悪い。そもそも託児所代わりにフィットネスルームを使用するのはやめてほしい
- ・フィットネスルームは1つだけなのに子どもの遊び場になっている日があるが、本来の使い方ではないと思う
- ・兄弟で下は幼児、上が小学生などのとき子ども室を利用できるようにしてほしい
- ・ゴミ箱を2階だけでも一ヶ所でもいいので設置してほしい
- ・印刷室の簡易印刷機は黒の濃度がうまく調整出来ないので、交換して欲しい
- ・トイレが全て洋式になれば良い
- ・トイレを温かい便座にしてほしい
- ・トイレをもう少し広く
- ・図書資料室（4F）が活用されているのだろうか
- ・図書資料室に、料理（健康のための）本がもう少しあれば嬉しい
- ・駐車場を安く、又は無料で借りられたら良い
- ・寒い時期など1階ロビーだけでも、30分～60分程度早く使えるよう配慮頂きたい（予約手続きのため）

★予約

- ・一団体が仮予約で数カ所取るのは避けてほしい
- ・減免団体の予約を3ヶ月単位くらいで取れるようにならないか、キャンセルすると有料にするとか
- ・1グループの多数部屋の使用は許せない
- ・習いごとを主催するために部屋を借りる団体が多く、ゆいぽーとの施設が本来の目的をはたしていないように見受けられる
- ・ネットで申し込む場合、システムが使いにくい。もっと年寄りでも使いやすいシステムを！（例えば一画面で見えやすく）
- ・減免の書類を毎年提出するのが難しい
- ・簡単に使用申込ができるとうい

★その他

- ・指定管理制度の運用ではなく市の直営にしてほしい。せっかく男女共同参画推進センターなのに働く人の雇用が4年毎に変わるようではいけないと思う
- ・タカノ橋商店街や駐車場で使えるクーポンがあるとうれしい



発行：平成30年（2018年）3月

発行元：広島市男女共同参画推進センター

〒730-0051 広島市中区大手町5丁目6番9号

TEL：082-248-3320

FAX：082-248-4476

E-Mail：info-y@yui-port.city.hiroshima.jp

URL：http://www.yui-port.city.hiroshima.jp/